

# Students' Voice

在学生からの声



2年  
阪田 和佳子

## 留学体験談

私は、春休みに千葉大学の提供する留学プログラムでメキシコへ行き、都市デザインに関するワークショップに参加しました。

ワークショップでは、生活や観光を通して、メキシコの都市問題や隠れた魅力を発見し、それらを解決するための製品、環境、サービス分野のデザインのアイデアを、最終プレゼンテーションに向け現地の学生と議論しました。また、現地では日本人の参加学生で共同生活をしました。現地の文化や、飲めない水、お湯が出ないシャワーなど様々なハプニングにみんなで戸惑いながらも、異国の暮らしを満喫しました。

当初は、都市デザインに興味があったものの専門ではないため、他の参加学生との差があることや、アイデアを絵にして英語で表現することに不安を感じ、参加を迷っていました。

しかし、いざ参加してみると、絵や語学など技術的に足りないことは、とにかくやってみることで身につく、他の学生とも遜色なく活動することができました。また、英語で活動することで、自分の考えを要約し、限られた語彙で伝えたいことを表現する力がつきました。物おじせず挑戦した経験から、私の想像を超える結果を得ることができました。



3年  
由川 裕将

## 学生生活について

国際教養学部では、既存の学問にとらわれない、自由な学びができるのが特徴です。もし、あなたのなかに国際的な課題、身近な問題への興味があれば、様々な興味を持つ学部生と、ディスカッションやプレゼンテーションを通じてあなたなりの答えを出すことが出来ると思います。特徴のもうひとつである留学ですが、私もイギリスへの留学を控えており、留学生との交流や渡航によって様々な経験をした同級生からも、忙しいながら充実した生活を送っており、日本から離れることで見える景色もあると聞いています。日々問題意識を持つことで辛いこともありますが、常に学生同士でディスカッションや勉強会から自主ゼミなど多くの学びの姿が見られるのはこの学部特有だと思います。とはいえ頭の固い人間ばかりでなく、時には娯楽作品を通じて、時にはイベントを通じて学ぶこともあります。国際教養学部はまだ日の浅い学部です。教授と学生のコミュニケーションが授業内外で多く出来ることも特徴かもしれません。あなたの入学が、あなたの発言が、学部をよりよい方向へ変えるきっかけになります。

